情　報　公　開　文　書

研究の名称	乳癌個別化治療に関する後ろ向きコホート研究
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 （所属・氏名）	富山大学　消化器・腫瘍・総合外科　助教　関根　慎一
研究の概要	【研究対象者】 富山大学附属病院にて、乳がんに対して全身麻酔下手術、化学療法、放射線治療を計画/実施した方。 【研究の目的・意義】 本邦における乳癌診療は適切な集学的治療により、今後ますますがん生存者が増えていくことが予想される。乳癌の薬物療法では、免疫組織化学的な検査によるサブタイプ分類が行われ、個別化治療が今後も進んでいきます。本邦における乳癌治療の現状について検討することを目的とし、この研究を計画しました。 【研究の方法】 富山大学附属病院にて乳癌治療を施行/計画された症例を選定し、手術の周術期合併症および短期・長期の副作用の有無、術前術後化学療法の内容、治療期間における有害事象の有無や程度、再発や長期予後、日常生活動作（Activities of Daily Living：ADL)、生活の質（Quality of life：QOL）の変化、治療内容（手術、薬物療法、放射線療法）について評価する。 【研究期間】 　実施許可日　～　2026 年 3 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 研究結果は日本乳癌学会、日本外科学会等での論文・学会発表を行う。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	・患者背景、臨床病理学的特徴（ER,PgR,HER2,Ki-67)、検査所見、画像所見、治療内容（手術,薬物療法,放射線療法)、治療後成績（合併症,生存期間,再発形式)、手術内容、手術療法前後の介護度、術後合併症の頻度、日常生活動作（ADL)、生活の質（QOL)。本研究で得られた研究対象者の情報等は、現時点では特定されない将来の研究のために用いる可能性があります。その場合には、改めて研究計画書を作成又は変更し、必要に応じて審査委員会の承認及び、研究機関の長の許可を得ます。（他機関への提供は行いません）
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院長　山本　善裕
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学　消化器・腫瘍・総合外科　関根　慎一
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料･情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 　電話　076-434-7331　　FAX　076-434-5043 　E-mail　sekky@med.u-toyama.ac.jp 　担当者所属・氏名　富山大学消化器・腫瘍・総合外科　関根慎一、松井恒志